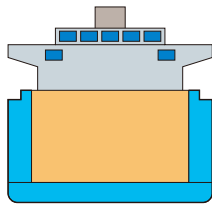


国内貨物を運ぶ船

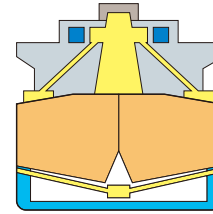
一般貨物船(いっばんかもつせん)

鋼材(こうざい)、機械、家具、食料、衣類などのばら積み貨物を運ぶ、最もオーソドックスな内航貨物船。699総(そう)トン型、499総トン型、199総トン型が輸送効率(ゆそうこうりつ)の高い船型として多く建造(けんぞう)されている。



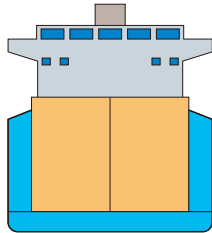
セメント専用船(せんようせん)

工場(じょうたい)でつくられたセメントをばら荷の状態(じょうたい)で全国の流通基地(りゅうつうきち)まで運ぶ。軽い粉末(こな)であるセメントの持ちよう(もちよう)を利用し、積み降(おろ)しには空気圧(くうきあつ)で搬送(はんそう)する方式(かっしき)がとられ、そのための荷役装置(にやくそうち)を装備(そうび)している。



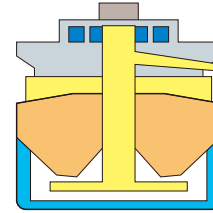
油タンカー

石油製品(せいひん)を運ぶ油送船。重油用の黒油船とガソリン、ナフサ、灯油、軽油用の白油船に分類される。タンク内(たくち)はかべで仕切られ、船体(せんたい)がゆれても、油が片側(かたがわ)に移動(いどう)しないようバランスが保(たも)たれている。



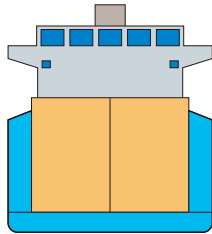
石灰石専用船(せっかいせきせんようせん)

セメントや製鉄(せいてつ)の原料となる石灰石(せっかいせき)を専門(せんもん)に運ぶ。ばら積み船(ばら積みせん)のような構造(こうぞう)の船もあるが、最近(さいきん)は、ベルトコンベア方式(べるとこんべあかっしき)の揚(あ)げ荷役装置(にやくそうち)を持ち、石灰石(せっかいせき)をそのまま陸上(りくじょう)に運び出す方式(かっしき)の船(せん)が増(ふ)えている。



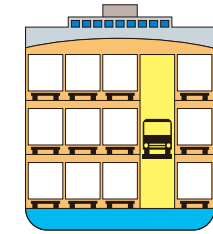
ケミカルタンカー(内航)

合成樹脂(ごうせいじゆし)やポリウレタンなどの原料となる石油化学品(せうゆがくしひん)をはじめ、液体(えきたい)化学品(がくしひん)を専門(せんもん)に運ぶ船。油タンカーの構造(こうぞう)と似ているが、タンク内(たくち)を細かく区切(くわ)っているのが持ちよう。



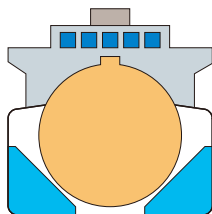
RORO船(ローローせん)

船(せん)の前後(ぜんご)のランプウェイからトラックやトレーラー、フォークリフトによって直接(ちよくせつ)貨物(かぶつ)を積み降(おろ)しするRORO(ロールオン/ロールオフ)方式(かっしき)の貨物船(かぶつせん)。主に定期航路(ていきなうりょ)に就航(しゅうこう)し、雑貨輸送(ざっかゆそう)に活躍(かつやく)している。



LPG船(エル・ピー・ジーせん)(内航)

LPG(液化(えきか)石油ガス)を国内輸送(ゆそう)するための専用船(せんようせん)。冷却式(れいきゃくしき)の外航(がいこう)LPG船(れんがせん)に対して、内航(ないこう)LPG船(れんがせん)は常温(じょうおん)で加圧(かあつ)して液化(えきか)する加圧式(かあつしき)を採用(さいよう)。球形(きゅうけい)または円筒形(えんとうけい)の圧力タンク(あつりょくタンク)を持つ。



プッシャーバージ

貨物(かぶつ)を積むバージ(はしけ)とそれをおすプッシャー(おし船)を組み合わせた水上輸送(ゆそう)システム。バージの船尾(せんび)にプッシャーの船首(せんづ)部分(ぶぶん)をはめてこんで連結(れんけつ)し、プッシャーがバージをおして運航(うんこう)する。

